

人間総合科学研究科(3年制博士課程)教員研究分野一覧

〈スポーツウエルネス学位プログラム〉

教員名	【専門研究領域】 研究内容
 ○尾縣 貢 教授	[①スポーツマネジメント ②スポーツコーチング ③トレーニング] 競技者育成、指導者育成、トレーニングマネジメント、運動部活動のマネジメント、競技団体マネジメント、競技会マネジメント、 タレント発掘、スポーツ政策
 ○菊 幸一 教授	[①スポーツプロモーション政策 ②スポーツ社会学 ③体育科教育学] プロフェッショナルスポーツの歴史社会学、スポーツのブランドプロモーションと経済との関係、スポーツと暴力の歴史社会学、 地域スポーツクラブ(総合型を含む)の公共性、民間スポーツ組織の自立と公共性、生涯スポーツに向けた学校体育のプロモーション、 障がい者スポーツの可能性、スポーツへのメディアプロモーションの功罪、トップアスリートのセカンドキャリア問題
 ○久野 譜也 教授	[①スポーツ・運動とヘルスプロモーション ②健康政策] 中高齢者の健康増進、地域・職域における健康政策、生活習慣病および介護予防、サルコペニアおよびサルコペニア肥満の予防、 健康づくり無関心層の行動変容策の開発、地域コミュニティ(ソーシャルキャピタル)と健康、健康な都市づくり、ヘルスケア ビジネス、人材育成
 ○水上 勝義 教授	[①メンタルヘルス ②ストレスマネジメント ③認知症] 職場、地域のメンタルヘルス支援、高齢者のメンタルヘルス支援、認知症の診断・予防・進行抑制プログラムの開発
 山口 香 教授	[①スポーツマネジメント ②スポーツコーチング] 競技者育成、指導者育成、タレント発掘、一貫指導(セカンドキャリアを含む)、女性スポーツ、競技団体マネジメント
 柴田 愛 准教授	[①ヘルスプロモーション ②健康行動疫学 ③応用運動科学] 中高年の身体活動・運動推進および座位行動改善に関する研究、介護予防プログラム(特に、運動器の機能向上、運動器疾患 対策)の開発と評価、ソーシャルマーケティングに基づく効果的な健康行動普及手法の開発
 高橋 義雄 准教授	[①スポーツプロモーション ②スポーツイベントマネジメント ③スポーツ産業人材のマネジメント] スポーツ競技団体のマネジメント、地域・企業におけるスポーツ組織のマネジメント、スポーツ産業人材のマネジメント、スポ ーツイベントマネジメント、スポーツ政策、スポーツマーケティング

※出願にあたって志願者は必ず志望する教員と事前に連絡を取ってください。

教員の連絡先は http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/wp/examinee/synthesis_science/sport-wellness/ をご確認ください。

注) ○印の教員は、研究指導担当教員です。○印のない教員は、研究指導教員には指名できませんが、研究内容について助言を得ることができます。

平成30年度 博士号	和久 貴洋
	国立スポーツ科学センター・副センター長 情報・国際部長／主任研究員
	<タイトル> 自治体におけるスポーツ政策イノベーションの促進要因に関する研究
	塚尾 晶子
	つくばウエルネスリサーチ執行役員
	<タイトル> 健康づくり無関心層に効果的に健康情報を届けるインフルエンサー 養成システムの開発



入試日程(募集人員：若干名)

資格審査受付期間：令和元年9月10日(火)～9月14日(土)

入学願書受付期間：令和元年9月24日(火)～10月5日(土)

オープンキャンパス

令和元年5月25日(土) 15時00分～16時30分
【場所】東京キャンパス文京校舎 1階122講義室

入学試験

第1段階選抜 合格発表：令和元年10月25日(金)

第2段階選抜(外国語試験・口述試験)：令和元年11月9日(土) 合格発表：令和元年11月29日(金)

※第2段階選抜 配点：書類審査80点、外国語試験(TOEICスコアで代替)40点、口述試験80点

お問い合わせ先

筑波大学社会人大学院等支援室 TEL.03-3942-6918 mail:businessentrance@un.tsukuba.ac.jp

入試情報・募集要項などはこちらから <http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp>

博士レベルの高度な研究力と
マネジメント力で
イノベーションを起こせ!
スポーツ・ヘルスプロモーション分野の
高度専門職業人を養成します!!

筑波大学 大学院 人間総合科学研究科

スポーツウエルネス
学位プログラム 3年制博士課程
Doctoral Program in Sport and Wellness Promotion

スポーツウエルネス学位プログラム概要

大学院3年制博士課程

(社会的要請・課題等) スポーツ庁の設置や我が国の健康寿命延伸のために政府各機関、シンクタンク、競技団体、地方自治体等の今後の幹部候補生として、スポーツあるいはヘルスプロモーション分野の高度専門職業人の養成が急務となっている。

(2つの具体的課題等)

- ①スポーツの国際競争力の向上(国際的な交渉に苦戦)
- ②スポーツによる健康寿命の延伸と社会保障費抑制への貢献

◆指導の特色

1人の学生に対して3名のアドバイザリーグループ(本学位プログラム教員から2名、客員教員：メンター教員、研究指導教員など)を設置し、複数指導体制を整える。また、必要に応じて外部有識者やOB・OG教員を招聘してアドバイスを受けることができるようにする。入学から学位授与までのプロセスを明確にすることで、段階的な研究指導を実現する。

■人材養成目的

1)博士レベルの高度な研究力を保有したうえで、2)イノベーションが必要な難度の高い課題解決を推進できるマネジメント能力、を併せ持つ高度専門職業人を養成する。

◆育成される人材

- 本領域において、国際機関等のグローバルなレベルで日本を代表して調整を行える人材
- 政府及び関連機関、地方自治体等において、課題解決プロジェクトの推進リーダーを務める人材

◆授業科目等の特色

東京キャンパスの社会人大学院のマネジメントに関連する授業科目、さらに独自の課題解決型プロジェクトワークを修了要件の単位とする。

■学位授与の方針

○課題解決型プロジェクトワークの合格
(マネジメント力の確認)

○博士論文の合格
(研究力の確認)

○必要単位の取得
(専門性の確認)

以上3つすべての要件を満たすこと

■課程修了(学位)

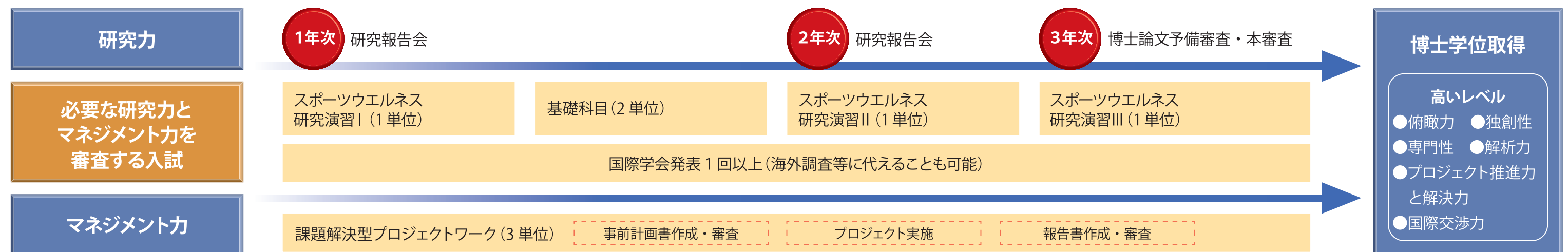
博士(スポーツウエルネス学)
(名称の理由) スポーツプロモーションとヘルスプロモーション相互の合理的な関係による相乗的な効果

■修了生の活躍の場

政府各機関、関連シンクタンク、競技団体、地方自治体等の幹部もしくは幹部候補生

教育課程編成・実施の方針

研究力に加えてグローバルで通用するマネジメント力を同時に養成



■教育課程編成・実施の方針：

俯瞰的な視野と柔軟な思考力を有し、様々な領域の人材とチームを組んで課題を解決する能力及び最先端の研究技法を駆使して、グローバルなレベルで問題解決できる能力を育成するための教育課程を編成する。

■学位プログラムの運営体制：

- 研究指導担当4名、授業担当3名、学外組織から客員教員を招聘
研究指導は、主指導教員(1名)と学内外のメンター教員(2名以上)の複数指導体制
- 運営委員会を設置し、委員長、副委員長、教育担当、学生担当等
専攻設立条件となる教員数以上を担当教員とする運営体制を構築